

不壊

PTAだより
久留米高校

第79号
発行 久留米高等学校
父母教師会
編集 企画広報委員会

誠 校
叡 訓
智 実
魄



校長 葉玉大作

受動的学びから 能動的学びへ

卒業生の皆さんへ卒業おめでとうございます。これまで皆さんは、小学校・中学校の九年間で、少年少女として成長していくための様々な基礎を学び、そしてこの久留米高校での三年間で成人として成長するための基礎を学びました。ほんとに、皆さんは素直な心を持ってよく学んだと思います。さすが久留米生と自慢するに値する学校生活だったと確信しています。しかし、忘れて欲しくないのは、これまでの学びは、ほとんどの内容が受動的な学びでした。言い換えれば、ほとんど全てが教わったものであるということです。小さいときは親から、学校では先生から、そして友や先輩から様々なことを教わりそれを吸収して成長してきました。時には怒られ、時には褒められ、時には励まされ、様々な時に様々な人から教わってきました。今、皆さんがここに成長した個人として存在するのは、皆さんに様々な形で関わってきた人々のお陰であります。眼前に現れる道が平坦で

ないのは自明のことです。ちょっとした起伏ではなく山あり谷ありであります。そして、その先には分岐の道があります。右を選ばずか左を選ばずか苦渋の選択もあるでしょう。まことに人生悩み多きこと限り無しです。しかし、自分の前に道がある以上、立ち止まらずに進まなければなりません。いかなる道が現れようと、どんな苦境が待ってようと、最後は自分で考え、判断し行動しない限り何も解決しないのです。その来るべき時に備え、謙虚に素直に「能動的学び」を実践して、その過程の中で君は人として大きくなり、親からいただいた一度しかない人生の喜びを得ることになるのです。

卒業生の皆さん、今後益々のご多幸と活躍を心から祈念いたします。最後にありますが、保護者の皆様には、これまでのご家庭におけるお子様のご教育のご苦労に対し心から敬意を表しますとともに、ここに立派に成長し卒業を迎えられましたことに心から祝い申し上げます。また、本校教育に対して多大なご支援とご協力を賜りましたことと厚くお礼申し上げます。



父母教師会長
田中憲治

卒業にむけて

久留米高校卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。振り返れば、あつという間の三年間だったのではないのでしょうか。高校を卒業するという事は、様々な方々から保護され、導かれながら成長する、というステップの終了を意味します。今まで皆さんは自分の為に一生懸命勉強してきた事だと思えます。それは決して間違っているではありません。しかし、これから進学し、大学の勉学にしても、その後就職し、家庭を持つにしても、「自分の役割」というものが大切になってきます。

人間はひとりでは生きられません。集団の中で役割を担い、繋がりをもって暮らし、多くの人から恩恵を受けます。当然、繋がりの中で自らも恩恵を与えてゆく。間違いない、幸せに生きていく人には明確な「自分の役割」があります。その役割を果たすことに生きがいを感じ頑張れるのです。今日、我々親にとつても子を育てるという役割の一つの区切りとして、皆さんは卒業し羽ばたいてゆく。この上ない喜びであり、子を育てて下さったという感謝の念すらあります。

卒業



おめでとう

卒業生へのメッセージ

三年一組 担任 大石 裕子
皆さんと出会って二年の歳月が過ぎました。一緒に駆け抜けた二年間でした。素晴らしい時を共有でき、幸せな日々でした。皆さんはこれまで寸暇を惜しんで立派に勉学に励んでこられました。この勉学の精神を忘れず、二十一世紀を担う人物に成長して下さい。

三年二組 担任 中尾 朋浩
安堵感に包まれた母親の胎内から出た時に、一つの細胞が不安と生への喜びに体を震わせたように、今君たちは、久高というあたたかい母胎から、賑々しい外の世界へと飛び出そうとして

三年三組 担任 角 弓香
卒業という良い日に願うこと。それは、「輝いた人で有り続けること」ということです。自己の目標に向け前進する人は、内面より溢み出るキラキラとした輝きがあります。「志」を高く抱き、このような境遇にも屈しない前向きな精神を持ち続けること。その精神は「久高魂」で培われていくはずです。皆さんの更なる飛躍を祈念いたします。

三年四組 担任 野本 智
卒業生の皆さん、卒業おめでとう。新たな旅立ちの時です。今後は、自分の選択が直に自分の人生に影響を及ぼします。「誠実」な心で事にあたりましょう。また、「叡智」を養うことも求められます。行動する時は「気魄」をもって、自分の人生に妥協しない生き方をしてください。

三年五組 担任 増田 佳子
初めて担任をした学年を送り出し、傷心の私の前に現れた皆さん。ありがたいうちに、また三年間をともに過ごせました。徹し言葉かけることが多かったですが、授業や様々な行事等を通して皆さんの良い所はちゃんと見てきました。もっと自信を持って、何事も積極的にチャレンジしよう。これからの活躍を期待しています。卒業おめでとう。

三年六組 担任 酒村 英明
卒業おめでとう。青春の中にある諸君たちには今からすることがたくさんある。ただ時の流れに身を任せるのではなく、物事を考えて行動することが大切だ。これが幸せになるための必要条件であると心得てほしい。それから、親孝行しよう。さようなら。

三年七組 担任 河野 正彦
卒業生の皆さん、卒業おめでとう。卒業後の進路は一人ひとりで違うでしょうが、久留米高校で三年間学んだこと、特に進路実現に向けて頑張ったことは、これからの人生の糧となるはず。さらに自己を高める努力を重ね、自信を持って信じる道を進んでいってください。これからの皆さんに、幸多からんことをお祈りします。

三年八組 担任 原 幸恵
卒業おめでとう。皆さんは、私が学年主任として卒業を迎えた初の生徒達だけに、感謝もひとしおです。いろいろな心配なこともありました。が、今となってはそれも思い出です。皆の素直さや明るさをもっと励めば、新しい環境でもきっと温かく受け入れられることでしょう。久留米卒業生であることを誇りに、肩を上げ、堂々と前へ進んでいってください。

三年九組 担任 高田 博行
久留米高校で学んだことを忘れることなく、これからの人生を前向きに進んでいってください。また、どこかで出逢うでしょう。その時は成長した姿を是非見せて下さい。卒業おめでとう。

三年十組 担任 新木 幸子
卒業おめでとう。この三年間、色々なことがあったと思います。多岐にわたる経験は、辛い時や苦しい時、社会で生き抜く力を養う時期である高校時代は、甘いものではないはずですが、この経験が、これからの皆さんを支え、いつか懐かしがる時がくるはず。幸多き人生を祈ります。

三年一組 担任 大石 裕子
皆さんと出会って二年の歳月が過ぎました。一緒に駆け抜けた二年間でした。素晴らしい時を共有でき、幸せな日々でした。皆さんはこれまで寸暇を惜しんで立派に勉学に励んでこられました。この勉学の精神を忘れず、二十一世紀を担う人物に成長して下さい。

三年二組 担任 中尾 朋浩
安堵感に包まれた母親の胎内から出た時に、一つの細胞が不安と生への喜びに体を震わせたように、今君たちは、久高というあたたかい母胎から、賑々しい外の世界へと飛び出そうとして

三年三組 担任 角 弓香
卒業という良い日に願うこと。それは、「輝いた人で有り続けること」ということです。自己の目標に向け前進する人は、内面より溢み出るキラキラとした輝きがあります。「志」を高く抱き、このような境遇にも屈しない前向きな精神を持ち続けること。その精神は「久高魂」で培われていくはずです。皆さんの更なる飛躍を祈念いたします。

三年四組 担任 野本 智
卒業生の皆さん、卒業おめでとう。新たな旅立ちの時です。今後は、自分の選択が直に自分の人生に影響を及ぼします。「誠実」な心で事にあたりましょう。また、「叡智」を養うことも求められます。行動する時は「気魄」をもって、自分の人生に妥協しない生き方をしてください。

三年五組 担任 増田 佳子
初めて担任をした学年を送り出し、傷心の私の前に現れた皆さん。ありがたいうちに、また三年間をともに過ごせました。徹し言葉かけることが多かったですが、授業や様々な行事等を通して皆さんの良い所はちゃんと見てきました。もっと自信を持って、何事も積極的にチャレンジしよう。これからの活躍を期待しています。卒業おめでとう。

三年六組 担任 酒村 英明
卒業おめでとう。青春の中にある諸君たちには今からすることがたくさんある。ただ時の流れに身を任せるのではなく、物事を考えて行動することが大切だ。これが幸せになるための必要条件であると心得てほしい。それから、親孝行しよう。さようなら。

三年七組 担任 河野 正彦
卒業生の皆さん、卒業おめでとう。卒業後の進路は一人ひとりで違うでしょうが、久留米高校で三年間学んだこと、特に進路実現に向けて頑張ったことは、これからの人生の糧となるはず。さらに自己を高める努力を重ね、自信を持って信じる道を進んでいってください。これからの皆さんに、幸多からんことをお祈りします。

三年八組 担任 原 幸恵
卒業おめでとう。皆さんは、私が学年主任として卒業を迎えた初の生徒達だけに、感謝もひとしおです。いろいろな心配なこともありました。が、今となってはそれも思い出です。皆の素直さや明るさをもっと励めば、新しい環境でもきっと温かく受け入れられることでしょう。久留米卒業生であることを誇りに、肩を上げ、堂々と前へ進んでいってください。

三年九組 担任 高田 博行
久留米高校で学んだことを忘れることなく、これからの人生を前向きに進んでいってください。また、どこかで出逢うでしょう。その時は成長した姿を是非見せて下さい。卒業おめでとう。

三年十組 担任 新木 幸子
卒業おめでとう。この三年間、色々なことがあったと思います。多岐にわたる経験は、辛い時や苦しい時、社会で生き抜く力を養う時期である高校時代は、甘いものではないはずですが、この経験が、これからの皆さんを支え、いつか懐かしがる時がくるはず。幸多き人生を祈ります。

先進的英語教育開発・実践事業

本年度より3カ年、本校英語科は福岡県教育委員会の「先進的英語教育開発・実践事業」の研究指定を受け、様々な取り組みを進めています。この事業は、高度な英語力を備えたグローバルな人材の育成、新しいカリキュラムの開発、本県英語教育の推進を目指しています。

TOEIC講座



英語科では、TOEIC講座を実施しています。TOEICとは、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストで、多くの企業・団体・学校などで採用されています。今年、外部の専門指導者から計18回の講座を受け、企業が海外出張者に期待するスコア615点を目指して頑張っています。

English Camp



9月3日(火)～6日(金)の3泊4日、APUにて英語科1年生のEnglish Campを行いました。このキャンプでは、少人数のグループに分かれ、12名の様々な国の留学生リーダーとAll in Englishで活動を行いました。留学生リーダーから出身国の説明を聞き、グループ毎にカルチャーレポートをまとめたり、異文化がもたらす可能性についてディスカッションをしたりしました。最終日には、このキャンプで学んだことや考えたことをグループ毎にまとめ、留学生リーダーの国に届けたいもの、貢献できることを英語でプレゼンテーションすることができました。実りの多い感動的なCampでした。

外資系企業訪問 (ベガコーポレーション、双日)



外資系企業訪問として、7月にベガコーポレーション、8月に双日を訪問しました。代表取締役自ら、世界へ向けた開発事業、社会人としての必須要素など、貴重な講話をしていただきました。企業における英語の使用状況の実態を目の当たりにし、英語の必要性を実感することができました。

アメリカ領事館訪問



アメリカ領事館(駐福岡米国領事館)にも訪問し、領事官の方から、「日米関係の始まり」について英語による講義をしていただきました。

今年度英語科が20周年を迎えました。英語科の取組をご紹介します。



第2回留学生交流会報告

国際交流委員長 出利葉 有晃



昨年12月14日(土)に行われました第2回留学生交流会についてご報告させていただきます。今回は、クリスマスパーティー兼本校留学生1年1組ソフィア・ロドリゲスさんの送別会でもあり、AFS語学留学生1名を迎え、AFS語学留学生ソフィアさんと、AFS語学留学生のプレゼンテーションがあり、ソフィアさんは日本での生活の難しさや、学校生活の様子を話してくれました。



最初に、校長先生から流暢な英語で挨拶をして頂き、次に本校留学生ソフィアさんと、AFS語学留学生のプレゼンテーションがあり、ソフィアさんは日本での生活の難しさや、学校生活の様子を話してくれました。

続いて2年生英語科のダンス、1年生英語科のギター演奏と歌の披露があり、全員がまとまっていて、とても上手で素晴らしいクリスマスパーティーを盛り上げて頂きました。その後、英語でジェスチャーゲームを行いました。各級の代表者がパフォーマーとして英語で出されたお題をジェスチャーし、皆で答えていくというもので、演技力は素晴らしく笑い声が会場は大いに盛り上がりました。

今回の交流会も笑いあり、涙ありと多くの感動を見ることができました。参加させて頂いて心から感謝しています。この交流会が、留学生と生徒の良き思い出になり、未永く続いてほしいと願っております。

最後に留学生交流会に参加・協力いただきました先生、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

ゼンザン会

一月四日に受験生を激励する為に、三学年委員さんにより、ぜんざいがふるまわれました。温かいぜんざいに笑顔がこぼれていました。

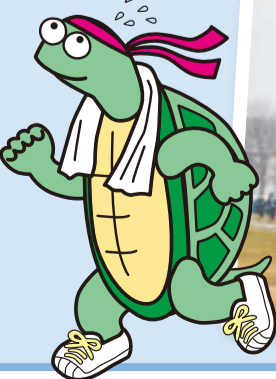


校内マラソン大会 成績発表

男子	1位	2年6組	立石 亮太
	2位	2年2組	金井 大悟
	3位	2年5組	寺島 翔
女子	1位	2年7組	國武 葵
	2位	2年4組	國分 真佑
	3位	1年3組	米倉 加奈
団体総合順位	1位	2年6組	
	2位	2年7組	
	3位	2年4組	



校内マラソン大会



編集後記

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。学校行事での久高生の活躍をお伝えできればと紙面を作成してきました。が、いかがだったでしょうか。原稿依頼の際は、多くの方々にご協力頂きありがとうございます。そして、様々な方にお世話になりました。広報委員として思い出に残る仕事ができ、ありがとうございました。 (企画広報委員)